

未来を担う子ども達に より良い教育環境づくりを



質問者
南雲 まさ子 議員

松田町総合計画まちづくりアクションプログラムの中に「生きる力」を育成する教育を推進のため：「確かな学力、豊かな人間性、健やかな体をあわせ持った子どもを育みます。」とあります。そこで、次のことをお伺いいたします。

(1) 文化芸術教育の充実策は、どんな展望をお持ち

(2) 子どもの読書活動推進のための方策と、その環境づくりをどう進めていらっしゃいますか。

(3) 小中学校における熱中症対策のためにミストシャワーの利用の方法等もあると思いますが、どのような方針でいらっしゃいますか。



松田小学校の読書活動

A 幼・小・中学の 教育の学びの 連続性を

回答（教育長）



(1) 文化芸術教育は、豊かな情操を育てるためにとても大切なことだと認識している。
この鑑賞をとおして、子ども同士が話題作りやコミュニケーションを図り、楽しく学校生活が過ごれるようにしたいと願う。

(2) 読書習慣の定着に取り組んでいるが、今年から見直しをして、学校図書担当教員・図書ボランティア・児童生徒と意見交換会を実施し、これらの意見をまとめ、本が好きなになれるようなイベントなども盛り込む予定である。

(3) 熱中症対策として、水分補給や休憩時間の確保などの対策を講じている。ミストシャワーは、学校と相談しながら設置に向け対応したい。

う。毎年継続して実施していきたい。

(2) 読書習慣の定着に取

り組んでいるが、今年か

ら見直しをして、学校図

書担当教員・図書ボラン

ティア・児童生徒と意見

交換会を実施し、これら

の意見をまとめ、本が好

きになれるようなイベン

トなども盛り込む予定で

ある。

(3) 熱中症対策として、

水分補給や休憩時間の確

保などの対策を講じてい

る。ミストシャワーは、

学校と相談しながら設置

に向け対応したい。

町の災害に対する備えを問う



質問者
大館 秀孝 議員

5年前の東日本大震災をはじめ、本年4月14日・16日発生の九州熊本

地方震災では、多大な被害が発生しました。特に熊本地方では、今まで例

を見ない断層地震で、今日でも余震が続いていま

す。また、5月16日夜に

は、茨城県でも地震があ

りました。

本町でも近くに断層が

あり、いつ地震が起きて

もおかしくない状況と思

われますが、災害に対す

る備えは万全かお伺いた

します。

A 減災に向け 取組みを 順次実施

回答（町長）



本年5月15日に、自主防災会活動マニュアル作成の手引きと自主防災会活動マニュアルの叩き台を、自主防災会長に配付させていただきました。6月5日・11日にマニュアル作成に向けての説明会を開催し、自主防災会活動の一助となるよう整備を進

町への対応については、昨年度2回実施した地震災害図上演習訓練等で、町として計画や実施していかねければならないソフト事業として、避難所運営マニュアルの策定、要支援者の避難・安全確保対策、ボランティアとの協働活動体制の整備などを把握することができ

た。

その中で、避難所運営マニュアルについては、本年3月に策定した。その他のソフト事業については、現在策定に向けて問題点の整理を行っており、順次整備を進めていく。

倒壊家屋からの救出訓練

